

令和8年度第1回森町広報委員会 議事録

日 時 令和8年7月13日(月) 午後2時30分から

場 所 新棟2階会議室

出席者 別添委員会名簿のとおり

1. 開会

2. 委員長挨拶

岩島委員長より挨拶

・森町広報委員会条例第4条により、委員長及び副委員長は、委員が互選した者をもって充てる。

3. 議題

(1) 既発行広報紙について

【委員長】それでは、議題について事務局より説明をお願いします。

【事務局】はじめに、令和8年度の広報発行状況についてご報告いたします。

既発行の4月号～7月号のうち、4月号は令和7年度予算、5月号から令和8年度予算となります。

昨年度同月と比較して4月号は6ページ、5月号は 14 ページ、6月号は 10 ページ、7月号は6ページ削減することができ、とくに、5月号では昨年同月号と比べて1冊あたり約40円、合計で約30万円の経費削減となりました。

また、印刷部数は各地区の世帯数減少等により7100部から見直し、今年度から6900部へ減刷しました。

そのほか、令和8年5月号より表紙・裏表紙のカラー化や表紙を縦写真に統一するなど、以前広報委員会でいただきましたご意見も参考にしながらリニューアルを実施いたしましたので、詳細は次の議題にてご説明させていただきます。

続いて、有料広告についてご報告します。

令和7年度は9社から申込があり、広告掲載は町内外あわせ58件、606,000円の収入となりました。

令和8年度は、現在7社からの申込があり、広告掲載は町内外あわせて19件です。おおよそ例年どおりの経過となっており、現時点の収入額は199,500円となっています。

広報発行状況・有料広告について報告は以上となります。

【事務局】次に広報紙リニューアルについて、概要をご説明します。

主な変更点は、右開きから左開きへの変更、表紙および裏表紙のカラー化、綴じ穴の廃止、紙面のスリム化です。

《①綴じ向きの変更について》

これまで縦書きとなっていた「暮らしの情報」を横書きに変更し、左開きにしました。リニューアル後は、特集記事等で縦書きを入れることがありますが、視線の流れに配慮した紙面構成としています。

《②表紙・裏表紙は毎月カラー》

リニューアル前は年4回、表紙をカラーで発行する月がありましたが、より写真を引き立たせ、「目に留まる広報」「読んでみようと思える広報」を目指しました。毎月カラーとすることで写真の訴求力向上や、視覚的な関心を引くアイキャッチ効果を持たせられたと思います。

《③紙面のスリム化》

紙面のスリム化には令和7年度中から取り組み、記事のボリュームなどを見直してきました。

言い回しを簡潔にしたり、記事の詳細をホームページで確認できるよう QR コードを掲載するなど、限られた紙面の中で情報量を調整しています。

見やすさの向上とあわせ、ページ数が減り印刷経費の削減を実現しました。

続いて、広報もりまち6月号および町公式LINEにて「リニューアルした広報紙に関するアンケート」を実施しましたので、設問を抜粋してご説明します。

6月1日～6月9日までにあった回答は 57 件でした。

まず、広報もりまちを「紙で見る人」は 24 人、「インターネットで見る人」は 12 人、「両方で見る人」は 21 人となりました。なお、インターネットで見る人のうち半数は町外在住者でした。

紙媒体で広報を見る人の多くは、HPで広報が閲覧できることを知っていて、なおかつ利用したことがある人が大半ですが「紙の方が見やすい、バックナンバーを見返しやすい」という意見が見られました。

リニューアル後の広報紙については、「見やすくなった」が26人、「見づらくなった」が10人、「変わらない」が21人でした。

「見づらくなった」と回答した10人のうち9人は紙媒体で閲覧しており、綴じ向きの変更による影響が主な原因として考えられます。一方、綴じ向きの影響を受けないインターネット閲覧者からの「見づらい」との回答は 1 件にとどまりました。

また、アンケートで寄せられた意見(一部抜粋)別資料のとおりです。

広報リニューアルに関するご報告は以上となります。

【委員長】委員の中で、ホームページを見ているという方はどれくらいいますか。

(複数名手を挙げる)

紙の方が手に取りやすいですが、ホームページでの閲覧が増えてきていますよね。

また、リニューアル後の紙面は構成が整理されたことや字数が減り見やすくなったこととあわせて、経済的な効果があったのはすごいと思います。

字の大きさは、意識して変えているのですか。

【事務局】字の大きさは、リニューアル前と比べてさほど変化がありません。

以前のフォントサイズは文字の縦横比を縮小した16Qでしたが、リニューアル後は文字の縦横比を100%にした15Qに設定しています。

【事務局】また、なるべく文字量を少なくするため二次元コードを活用していますが、委員の皆さんは二次元コードを読み取ることはあるでしょうか。

二次元コードから町のホームページへ遷移し、より詳しい内容が見られるようになっていきます。

【委員】紙面にすべてを載せることができないこともあるかと思いますが、二次元コードを読み取ることで自分の知りたい情報の詳細が見られるのはいいと思います。

【事務局】とくに、個人へ直接通知がいくものについては掲載を縮小し二次元コードで対応しています。

【副委員長】以前要望したことがある内容がだんだん実現されてきたように思います。

「広報紙がお悔やみ情報で終わってしまうのはいかがか」とお伝えしましたがリニューアルによって裏表紙ができ、よかったと思います。

綴じ向きが変わったことによる意見はいろいろあると思いますが、慣れるまでのことだと思いますので見づらいという意見は徐々に減っていくのかなと。

【副委員長】また、ホームページに掲載する広報紙のデータはカラーにならないのかとお聞きしたとき、以前は「容量が重くなるため対応が難しい」との回答でしたが、オールカラーでの掲載となり改善されたのはいいと思います。

【委員】写真も立体的でいいなと思いましたが、2月号の成人式の表紙写真は小さかったので、大きく掲載した方がよいと思います。

【委員長】それでは、事務局より次の説明をお願いします。

【事務局】広報全戸配布についてご説明させていただきます。

現在、広報配布は地域住民の協力により維持されていますが、駐在員の高齢化や担い手不足、町内会活動の縮小等を背景に将来的な継続が課題となっています。

まず、広報配布の状況について、駐在員は29人、町内会による配布は24町内会、からまつの森管理組合が1つ、業者への委託による広報配布は3町内会となっています。

駐在員では、最年長が86歳、最年少が44歳、平均年齢は約70歳です。

また、高齢のため広報配布を続けられないことを主な理由に、令和7年には4人、令和8年には3人が辞退・変更となりました。

町内会では、広報配布を引き受けられる人がおらず、令和6年4月からみどりヶ丘町内会、令和6年5月から森川町内会、令和8年4月から濁川町内会が業者への委託となりました。

前述の広報アンケートからもわかるようにホームページで閲覧ができる環境があったとしても、紙媒体の方が見やすいと感じる方は多く、ニーズは依然として高い状況です。

これらをふまえ、今回の委員会では、委員の皆様がお住まいの地区における現状やご意見をお聞きし、今後の配布手法を検討する材料とさせていただきたいと考えています。

【委員】新聞社へお願いするという話をお聞きしていましたが、その後はどうなりましたか。

【事務局】現在は、みどりヶ丘町内会と濁川町内会を新聞社による広報配布としています。

【委員】新聞を取っていない世帯への対応は。

【事務局】(新聞をとる、とらない)関係なく、配布となります。

森川町内会はシルバー人材センターによる配布となっています。

【委員長】職員が各地区の駐在員へ広報を配達していると伺いましたが、負担は減りましたか。

【事務局】いえ、駐在員への配達形態は変わりませんので、毎月はじめの平日に職員が広報を持ち込みし、部数の過不足があれば、引き取りや追加のために再配達します。

【事務局】資料のなかでお示したように、駐在員の高齢化や町内会活動の希薄化によってそもそも全戸配布を継続することに課題が出てくると考えています。

本日は、委員の皆さんがお住まいの地区で配布に関するご意見等あればお伺いしたいと思います。

- 【委員】●●町は班長が配布するということで、私も配布を担当しています。
件数自体少ないですが、沢の近くでは熊が怖いと思うときがあります。
また、忙しくて配布が2日、3日となると「遅いね」と言われることがあるのですが、
それだけ広報を待っているんだなど。
ただ、班長も当番制なので頼む相手には困っていないです。
- 【委員】私も配布する立場ですが、配布範囲が広いです。
仕事もしてますし、私の年齢でも毎月はやっぱり…今時期はいいですが、冬にも
車で行かなければいけないというのは大変です。
他も同じようになるのであれば、全戸（委託による配布を）お願いしてもいいんじゃないかと個人的には思います。
- 【委員】見守りの観点もあるということをお聞きしましたが、実際には日中に配布しても
不在の方が多くいらっやいますから、配布することと見守りすることは別に考えて
いいのでは。
- 【委員】配布が遅れたからと連絡がくることはあるんでしょうか。
- 【事務局】それはあります。
- 【委員】近隣や他の地区で広報が配られていると、気にされる方はいますよね。
- 【事務局】ただ、基本的には2、3日で配布されており、こちらからは「5日以内の配布」を依頼
していますので遅れているというわけではありません。
- 【委員長】最近是比较的配布が早いように思います。
- 【委員】●●町でもその日のうちに配布されることが多いですが、遠くや僻地に対しては
郵送するのはいかがですか。
- 【事務局】紙媒体を希望する世帯に対してのみ郵送等で配布することも考えたことがあります。
ただ、町内会への配布報償費は行事等に充てているという話をお聞きしましたので
一斉にやめてしまうと困るといった声もありました。
- 【委員】ホームページ等を活用して、「ウェブで見る」「紙で見る」の回答を集めてはいかが
ですか。回答が返ってこなければ紙媒体での配布を継続するということで。

【事務局】そういったアンケートをとるとすれば、全戸への通知を検討しておりました。

【事務局】町では、二次元コードの読み取り方やホームページの見方などを教えるスマホ教室も開催し、高齢の方にもデジタル媒体に慣れていただけるようにと考えています。広報の全戸配布を廃止しようと取り組む自治体があることをニュースで見ましたが、当町においてもデジタル・紙の並行、ゆくゆくはデジタル移行を選択肢の一つとして考えていかなければならないかと思います。

【委員長】それでは、次の説明をお願いします。

【事務局】最後になりますが、町のSNS運用についてご報告します。

今年4月よりLINEをはじめとする各SNSを活用し、情報の発信頻度を増やしてまいりました。それぞれのフォロワー数は微増傾向で、別表のとおりとなっています。ユーザの年代や利用目的等により発信する情報の向き不向きがあるため、現在は「用途」に示すカテゴライズで情報発信を行っていますが、SNSの利用動向等の変化に応じて、発信内容や媒体の使い分けについて継続的に検証し、柔軟に見直していくものとしています。

なお、発災時においては町HPを情報発信の基軸として運用し、LINE等のSNSはあくまで補完的な情報発信手段であることをふまえ、今後も適切なSNS運用を図ってまいります。

SNS運用に関するご報告は以上となります。

【副委員長】私は、X や Facebook はないので LINE だけ登録しています。

YouTube は、動画編集に時間がかかったり、人の映り込みにも厳しいのかなと。

【委 員】ただ、YouTube だと消防団の動画が見れるので、それはありがたいですね。

【事務局】消防団員向けの動画は再生回数もあり、需要は高いと思います。

そのほか、町の PR 動画などは地域おこし協力隊が編集・制作しており、最近ではショート動画の再生数も徐々に伸びています。

【事務局】SNS ごとに閲覧される投稿や反応は異なりますので、マニュアルに沿った運用をしております。

【委 員】このような媒体を通じて魅力を感じている町外の方も多くおり、実際に函館市から町へ買い物に来るという話をよく聞きます。

【委員長】SNS による経済効果もあるということですね。

事務局から何かありますか。

【事務局】究極は紙ではなく、LINE で行政手続きができるだとか、広報をスマートフォンで見る時代になるのかなという気がします。

私が知人から言われたことですが、以前は回転ずしに行くと紙で注文していたものが、今ではタッチパネルを使い注文するように、高齢者であっても状況に迫られるとやらざるを得ない時代になってきていると思いますので、今後の展開を考えなければならないと思います。

【委員】公共施設で、たとえば体育館を利用するために行ってみると大会が開催されていて利用できないことがあります。利用状況がわかれば利用する人も増えるんじゃないかと思うのですが。

【事務局】SNS に関しては、リアルタイムで情報が流れていますので、委員おっしゃるようにプールや体育館の状況だとかをお伝えできるように考えていきたいなと思います。まずは、森町の LINE を登録いただければ。

【委員長】聞き忘れたこと等ございませんか。

…本日は、活発な意見交換ができたかと思います。

それでは閉会します。お疲れ様でした。

15:30 閉会